

総務教育常任委員会資料
(平成29年8月21日)

【項目】

ページ

- 11 女性活躍サミットinとっどりの開催結果について 【女性活躍推進課】・・・ 1

女性活躍サミット in とっどりの開催結果について

平成29年8月21日
女性活躍推進課

先進的な取組を行っている企業や官民連携組織の実践事例などを共有し、女性活躍の動きを一層加速化させるためのフォーラム「女性活躍サミット in とっどり」を次のとおり開催しました。

1 女性活躍サミット in とっどりの概要

- (1) 日 時 第1日目 平成29年8月18日(金) 午後1時30分から4時15分まで
第2日目 平成29年8月19日(土) 午前10時から正午まで
- (2) 場 所 倉吉未来中心、倉吉交流プラザ
- (3) 主 催 女星活躍とっどり会議(官民連携の女性活躍推進主体)
- (4) 内 容

ア 第1日目

【特別講演】

テーマ：トップが牽引する女性活躍

講 師：宮島 和美 氏(株式会社ファンケル取締役副会長執行役員)

【パネルディスカッション】

テーマ：地域経済の活性化に向けた女性活躍

パ 初 主 持：齋藤 彰一 氏(女性の活躍推進三重県会議共同代表・(株)三重銀行特別顧問)

久留 百合子 氏(女性の活躍推進福岡県会議共同代表・(株)ビスネット代表取締役)

岡本 義朗 氏(内閣府大臣官房審議官(男女共同参画局担当))

吉田 圭子 氏(とっどり女性活躍ネットワーク会議メンバー・(株)ヨシダ会長)

平井 伸治 (鳥取県知事)

コーディネーター：岩世 麗 氏(フリーコンサルタント・講師)

【参加者数】 214人

【参加者の主な意見】

- ・自社の女性活躍について改めて考えるきっかけとなった。人材確保が厳しい現状の中、社員に長く勤務してもらうため、環境整備に取り組みたい。
- ・中小企業が女性活躍に本格的に取り組むためには行政や関係機関が成功事例をいかに効果的に発信していくかが重要。
- ・男性の意識改革の必要性は認識していたが、女性ももっと自信を持ちチャレンジしても良いということに気付かされた。



イ 第2日目

【分科会A】

テーマ：女性活躍とワークライフバランス～誰もが活躍できる職場づくり～

講 師：瀧井 智美 氏(株式会社ICB代表取締役)

参加者の主な意見

- ・他社の取組事例や課題を情報共有できた。今後職場改善につなげていきたい。
- ・自分のキャリアビジョンを考える上で、具体的にこれから自分が何をすればよいかが見えた。

【分科会B】

テーマ：地域防災における女性活躍

講 師：佐藤 淳子 氏(とっどり震災支援連絡協議会事務局長)

参加者の主な意見

- ・女性も男性もシニアもそれぞれが持つ能力を発揮しなければ地域はつくれる。守れない。
- ・災害時に頼れるリーダーがいるとは限らない。女性、シニアなど多様な地域リーダーの育成といざというときに支え合えるよう普段から地域のネットワークづくりが大切である。

2 今後の取組

官民連携で女性活躍を進めるための女星活躍とっどり会議を推進母体とし、輝く女性活躍パワーアップ企業の登録促進や女性のキャリアアップ支援セミナーの開催、女性ロールモデルの発信などを実施し、県内企業の女性活躍の動きを一層加速させる。